

Saiseikai Niigata Daini Hospital

地域医療支援病院 臨床研修病院

 社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部

新潟県済生会

済生会新潟第二病院

Social Welfare Organization "Saiseikai" Imperial Gift Foundation Inc.
Saiseikai Niigata Daini Hospital



地域医療支援病院 臨床研修病院

済生会新潟第二病院

〒950-1104 新潟県新潟市西区寺地280-7
TEL 025-233-6161(代) FAX 025-233-8880
<http://www.ngt.saiseikai.or.jp>



あなたとともに、
地域のために。

～済生会は医療と福祉で、あなたと未来を見つめています～



あたたかく 心ある地域医療を。

当院は1927年(昭和2年)に創設され、長年にわたり新潟市の医療の一端を担ってきました。1991年(平成3年)には現在地に新築移転し、1999年(平成11年)に増床。急性期病院として各診療科で質の高い専門的医療を行い、他の医療機関との連携を重視した医療を実践することで、新潟市およびその近隣地域の医療の中核的機能を果たしています。一方、人間ドック、健康診査、各種検診、母子保健、訪問看護など、保健や福祉にも積極的に取り組んでいます。

医療スタッフの教育研修や実習についても、院内外を問わず推進することを基本方針にかかげてきました。また、認定看護師の育成にも力を注ぎ、すでに成果をあげています。

これらの取り組みや活動の結果、新潟県で初めて開放型病院の認可を受けたほか、地域医療支援病院の承認、臨床研修病院の指定も受けました。さらにこれからの医療を見つめ、いち早くDPCによる包括評価制度をスタートしました。

現代の日本社会は、とくに円滑な人間関係が求められる時代となっています。そのような状況のなかで私たちは、医の倫理を守り、病める人に対して体と心の両面から支えることに努めています。親切であたたかい保健、医療、福祉活動を行うことによって、地域に信頼される病院をめざす私たちの姿勢には、これからも変わりはありません。

病 | 院 | 理 | 念

私たちは、利用する方々の権利を尊重し、信頼関係を大切にします。

私たちは、医療人としての自覚を持ち、質の高い医療を提供します。

私たちは、地域と共に、保健・医療・福祉の充実を目指します。

【病院基本方針】

- 1 患者さんの安全に留意し、満足いただける最善の医療を行うことに努めます。
- 2 臨床教育病院として、高い専門性と豊かな人間性を合わせ持つ医療人を育成します。
- 3 地域医療支援病院として、他の医療機関と連携を積極的に図り、地域を担う中核病院を目指します。

【患者さんの権利】

- 1 どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を受ける権利を有します。
- 2 医師、病院を自由に選択し、また他の医師の意見を求める権利を有します。
- 3 病気、検査、治療、見とおし等について、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と、情報提供を受ける権利を有します。
- 4 十分な説明と情報提供を受けたうえで、治療方法などを自らの意思で選択する権利を有します。
- 5 意識のない患者さん、未成年者は代行者に決定してもらう権利を有します。
- 6 自分の診療録の開示を求める権利を有します。
- 7 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利を有します。
- 8 健康教育を受ける権利を有します。

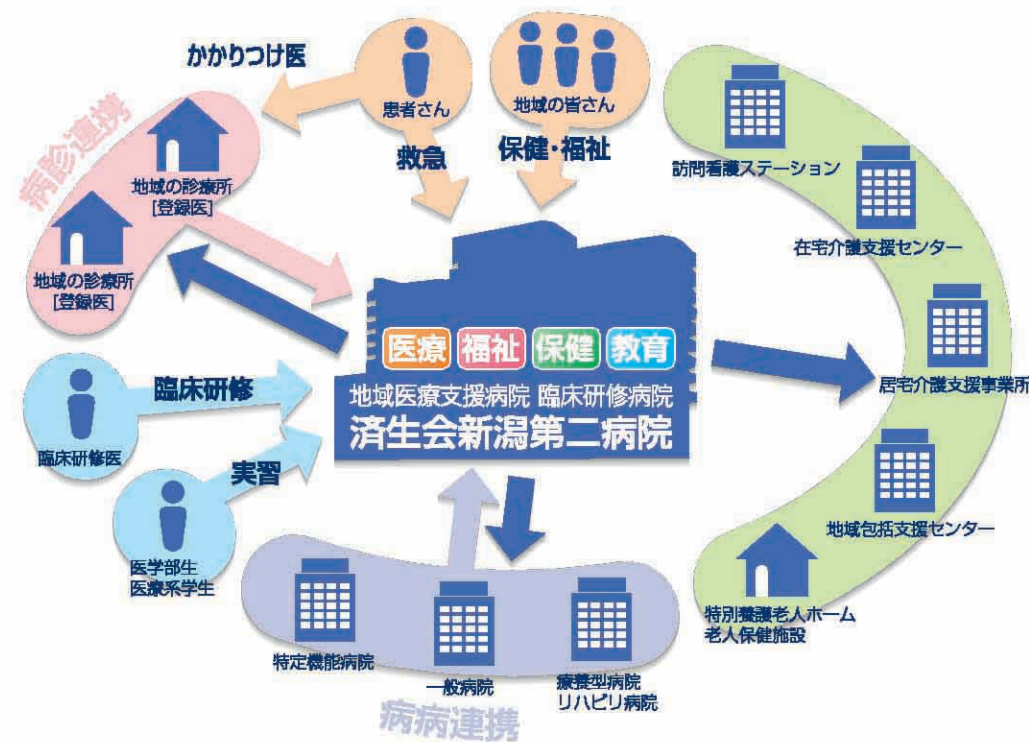


地域との連携



当院の担当医とオープンシステムに登録している地域のかかりつけ医が、協力して診療にあたります

1. 地域と連携した中核病院として



県内で当院が初めて承認された「地域医療支援病院」は、地域の診療所や病院から、精密検査や入院治療が必要とされた患者さん、救急患者さんなど急性期入院型の患者さんを受け入れる地域の中核病院です。当院では、地域の診療所との病診連携、特定機能病院・一般病院・療養型病院・リハビリ病院との病病連携といった医療連携に積極

的に取り組み、適切な機能分担をはかりたいと考えています。また、医療スタッフの教育研修や実習についても院内外ともに推進し、医師の臨床研修を実施するとともに、地域医療にたずさわる人材の育成活動も積極的に進めています。このような目標のもと、地域での最適な保健・医療・福祉サービスを提供できるよう努力を続けています。

2. オープンシステム

当院と診療所が協力しあい、当院は入院治療を中心に、診療所は外来治療を中心に、患者さんの診療を支援するシステムです。

オープンシステムによる診療の流れ



登録医へ受診
患者さんは、オープンシステムの登録医である地域のかかりつけ医の診療を受けます。



紹介状をファックス
登録医が紹介状を当院にファックスすることで、外来受診・検査、入院の予約ができます。



当院へ受診
患者さんは当院で診療・検査を受けます。



退院後
再び登録医のもとへ紹介します。治療上必要な場合は、当院からリハビリテーション・療養型病院へ転院が可能です。
[写真：連携医療機関]



入院・手術
必要に応じて登録医は当院の医師と共同で、回診・手術などを行います。



整形外科・皮膚科
しまがきクリニック
院長 島垣 齋 先生

開業医にも患者さんにも、メリットがあるシステムです。

私は済生会新潟第二病院での手術・入院に、年間100件くらいオープンシステムを利用しています。済生会の先生と一緒に手術をし、入院中には患者さんの診察にも出向きます。退院予定日などをファックスで知らせてもらえるので、前もってリハビリの予約などができて便利です。こうした連絡が実に早くて、確実で、きめ細かい。済生会新潟ではオープンシステムが、もっとも進んだ病院のひとつだと思います。

開業医にとっては、とぎれることなく患者さんの一連の治療に関わることができるのが、このシステムのメリットです。患者さんは、私の顔を見ればホッとできます。入院中は私が自分の病院で診療中でも、済生会のスタッフが対応してくれるので安心です。紹介状を書いて終わりではなく、退院後には患者さんにもとの病院へ帰ってもらうシステムですから、済生会とのあいだにとてもいい信頼関係が築けています。



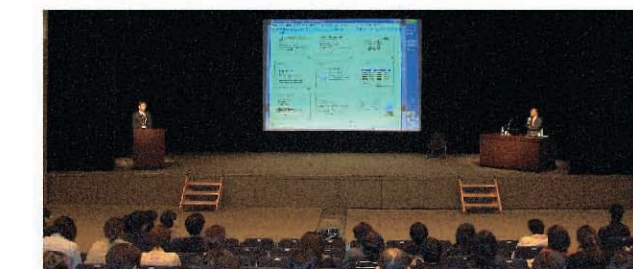
3. 医療連携推進のために

■ 医療連携協力機関マップ (パネル・リーフレット)



登録医の情報(医師会・医院名・診療標榜科目・住所・電話番号)を掲載しています。パネルは院内20カ所に設置、リーフレットはインフォメーション・受付窓口・各科外来・病棟等に配布してあります。

■ 地域との連携のための研修会



連携医療機関を対象に、さまざまな研修会や講演会を開催しています。

■ 地域医療連携室だより Baton



「済生会は医療連携を通して、地域の診療所と共に皆様の健康をリレーします」のキャッチフレーズのもと、地域医療連携室から、医療連携に関する情報誌として毎月発行しています。

■ 地域医療連携室

オープンシステムの円滑な処理のため専任のソーシャルワーカーや看護師を配置し、院内のみならず地域における地域医療連携の中心的な役割を担っています。

済生会とは

1. 済生会の歩み



名誉総裁
高松宮宜仁親王 喜久子殿下 御書

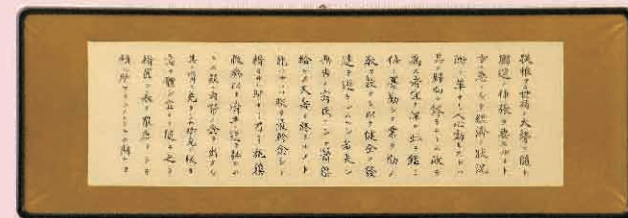
済生会は1911年(明治44年)、明治天皇の済生勅語によって創立されて以来、幾多の曲折を経ながらも、「済生」の心を受け継ぎ、保健・医療・福祉の充実と発展をめざし、数多くの事業を行っています。

2001年(平成13年)には創立90周年を迎えました。現在は社会福祉法人 済生会として、寛仁親王(ともひとしんのう)殿下を総裁にいただき、東京に本部、41都道府県に支部を置いて活動しています。社会福祉法人として、また公的医療機関として、その機能を充実させ、さらに発展させるために、病院、老人保健施設、老人・児童福祉施設、訪問看護ステーションなど、全国350あまりの施設で約4万人の職員

が保健・医療・福祉活動に取り組んでいます。新潟県においては、病院3カ所、老人保健施設1カ所、特別養護老人ホーム2カ所、在宅介護支援センター3カ所、訪問看護ステーション2カ所、デイサービスセンター3カ所を運営しています。これからは生まれる子どもがますます少なくなる一方、お年寄りが多くなります。政治・経済・社会の変化はめまぐるしく、保健・医療・福祉のあり方も激しい転換期にさしかかっています。

私たちは済生会人として、歴史と伝統のなかで培った「済生」の心をしっかりと受けとめ、地域の人々の命を支え、健やかな体を育むことができるよう、これからも力の限り務めを果たしていこうと、日々決意を新たに精進しています。

2. 済生勅語の大意



明治天皇「済生勅語」

私が思うには、世界の勢に及びて国運の発展を急ぐのはよいが、我が国の経済の状況は大きく変化し、そのため、国民の中には方向をあやまるものもある。

政治にあずかるものは人心の動揺を十分考慮して対策を講じ、国民生活の健全な発達を遂げさせるべきであらう。

また、もし国民の中に、生活に困

窮して医療を求めることもできず、天寿を全うできないものがあるとすれば、それは私が最も心を痛めるところである。これらの人たちに薬を与え、医療を施して生命を救う——済生の道を広めたいと思う。

その資金として、ここに手元金を提供するが、総理大臣は私の意をくみとって措置し、永くこれを国民が活用できるよう希望するものである。

済生会 紋章の由来



初代総裁伏見宮貞愛親王(ふしみのみやさだなるしんのう)殿下は、創立当時、済生会の事業についてのお心を上記のような「撫子(なでしこ)の歌」としてお詠みになりました。それにちなんで、いつの世にもその趣旨を忘れないようにと、撫子の花に麗をあしらったものが、1912年(大正元年)から済生会の紋章となっています。

良質な医療の提供

クリニカルパスを使って患者さんとその家族に、検査や治療の計画について医師がわかりやすく説明します



1. クリニカルパスによるインフォームドコンセント



クリニカルパスは、医療スタッフと患者さんが診療経過の情報を共有するため、検査や治療などの予定を時間軸に沿ってまとめたものです。患者さん向けには、経過日ごとの検査・治療などの予定を絵など

を利用し、医師がわかりやすく説明しています。患者さんにとって安全でよりよい診療を受けるために欠かすことができないツールです。

2. 質の高い医療のための医療機能評価



医療サービスは、医師や看護師などさまざまな専門職種の仕事によって担われています。患者さんのニーズをふまえて、質の高い医療を提供していくためには、組織体として、機能の一層の充実・向上をはかる必要があり

ます。当院では、そのような活動をさらに効果的なものにするために、財団法人日本医療機能評価機構による第三者評価を受審し、病院機能評価認定書の交付を受けています。

3. 手厚い看護体制

看護サービスの質が問われる時代を受け、当院では一般病棟に手厚く看護師を配置し、看護必要度に応じた看護体制をとっています。これにより患者さんに接する時間が増え、清潔ケアの充実、環境整備の徹底、新人看護師や看護実習生への指導の充実など、患者さんの立場に立った看護を実践しています。



4. 患者さんのためのチーム医療



主治医を中心に看護師、管理栄養士、薬剤師、検査技師、理学療法士、歯科衛生士などが、各科・各セクションをこえて連携しチーム医療を展開しています。また、栄養サポートチーム (NST=Nutrition Support Team)や感染管理チーム(ICT=Infection Control Team)などが、専門的できめ細かな医療を実践しています。

5. 医療安全管理室・感染管理室



医療安全対策に関するあらゆる事項を職務とする部署です。専任の看護部長を配置し、安全対策の推進をはかっています。また、感染管理は安全管理の一部であるという考えから、感染管理を専任で行う医師(ICD)のもと、感染管理認定看護師(ICN)が専任で配置されています。

6. さまざまな情報を提供する広報誌



【院外報 なでしこ通信】

患者さんとそのご家族向けの情報を掲載し、毎月発行しています。



【地域医療連携室だより Baton】

地域医療連携室から、医療連携に関する情報誌として毎月発行しています。



【へその緒通信】

当院産婦人科が毎月編集・発行しているニュースレターです。

ようこそ、あなたの済生会へ。



■ 待合ホール 自然光がやさしい開放的な大空間です。



■ 正面玄関 必要な方のために車椅子が用意されています。

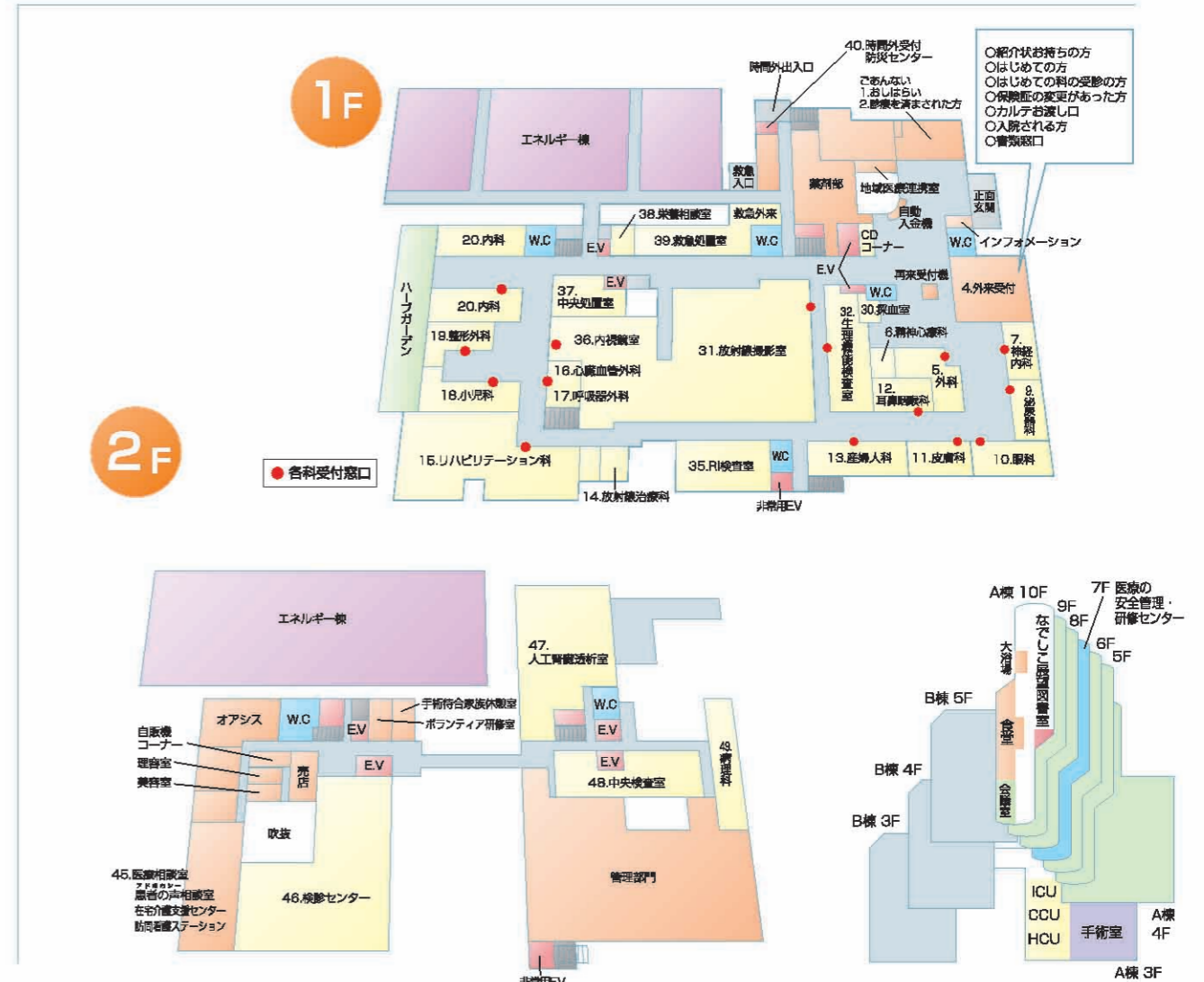


■ インフォメーション 看護師長が交替で、外来や病棟のご案内をしています。



■ 受付窓口 かかりつけ医の紹介状をお持ちの方、はじめての方などに分かれ、外来受診の手続きをします。

院内のご案内



■ ホスピタルロード 各科の外来へとつながっています。



■ 外来 平日の午前中のほか、科によっては午後も予約などによる診療を行っています。



■ 支払い窓口 会計入力が終わった後、診療券を受け取り、自動入金機で会計を行います。

やさしい目、そして確かな目。



■ 小児科外来での診療

小児科専門医が常勤し、お子さんやお母さんにやさしく小児科疾患全般の診断治療を行っています。



■ 中央検査室

さまざまな分析装置で患者さんの血液・尿・その他から、治療に必要な情報を提供する検体検査を行っています。



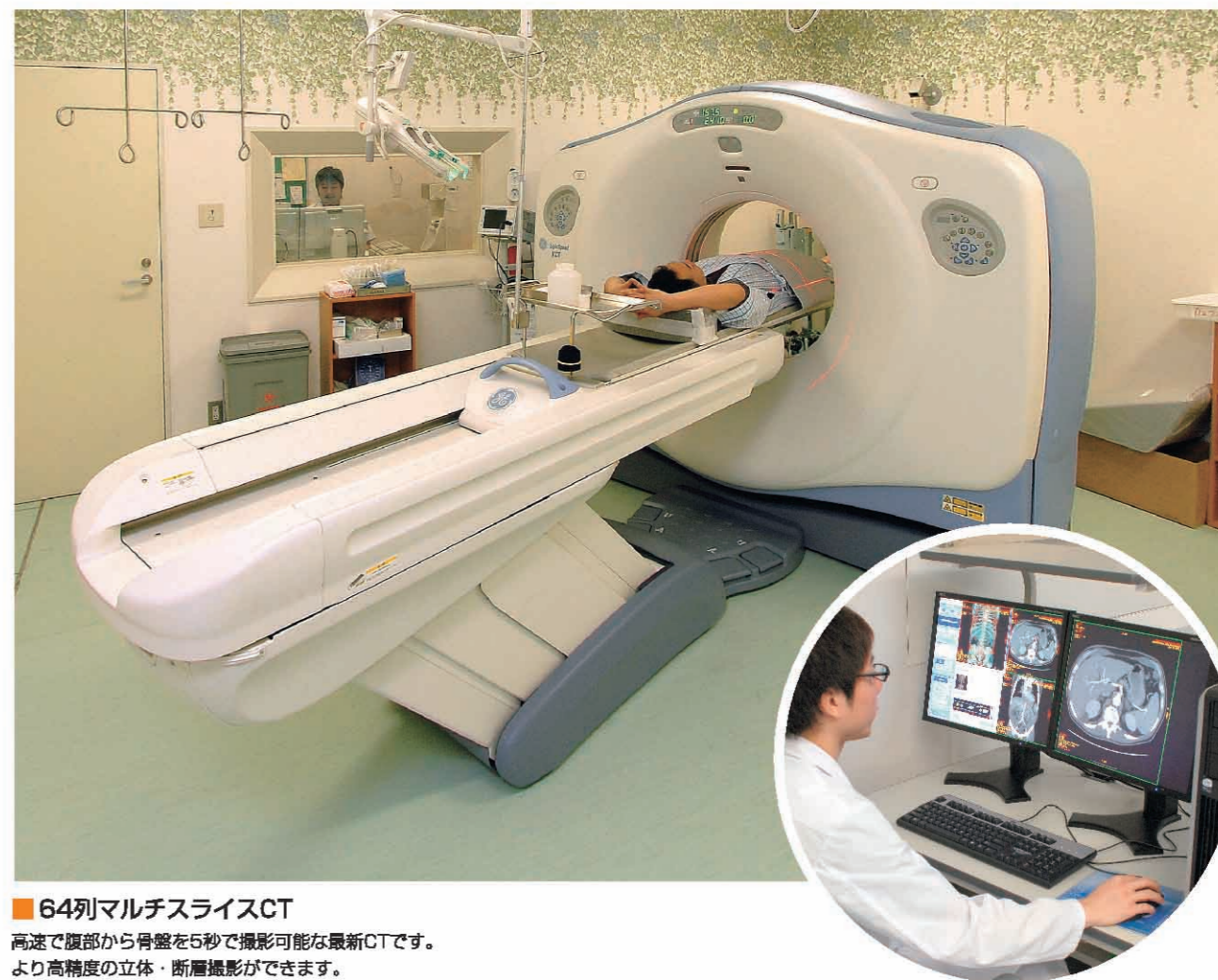
■ MRI

大きな磁力と電波を使って身体の断層像を撮る検査です。



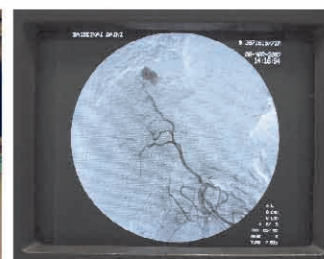
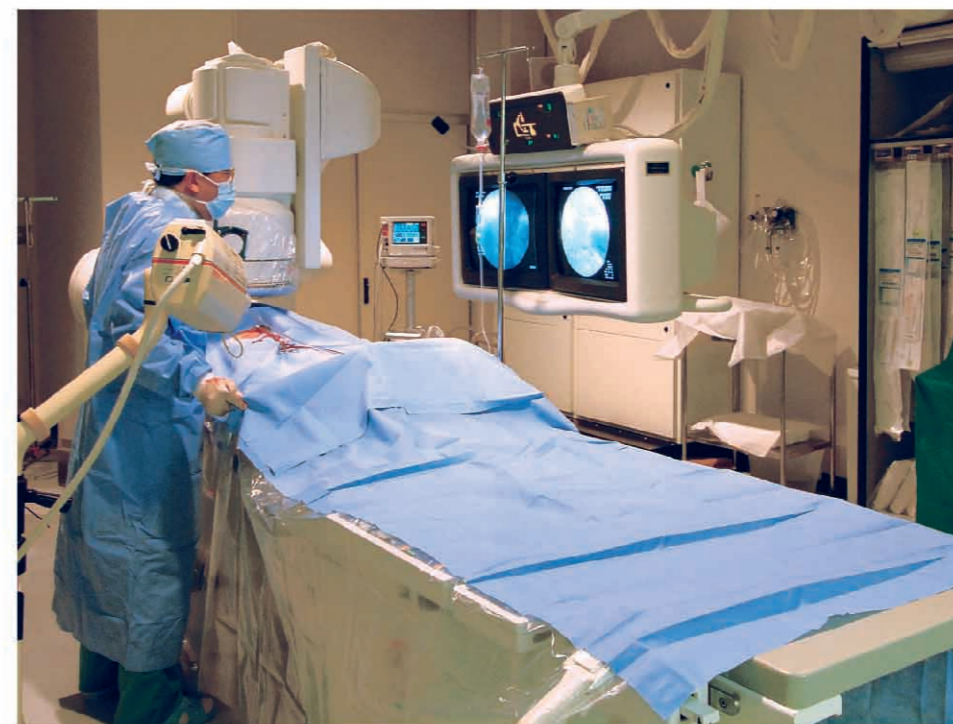
■ ガンマカメラ

体内に投与した放射性同位元素から放出されるガンマ線をとらえて、画像にする装置です。



■ 64列マルチスライスCT

高速で腹部から骨盤を5秒で撮影可能な最新CTです。より高精度の立体・断層撮影ができます。



■ 血管造影装置

カテーテルと呼ばれる細い管を血管内に挿入して、造影剤という薬液を血管内のカテーテルの先端から注入し、目的とする病変部位の血管を撮影して診断・治療を行います。

より専門的に、質の高い技術で。



■手術室 ささまざまな術式により、数多くの手術を行っています。



■麻酔について
安全な手術と回復のために手術時の麻酔はもちろん、術前・術中・術後を通して、呼吸・循環・代謝などの全身状態が良好に保たれるように管理しています。



■救急外来 救急の患者さんを受け入れ、地域の医療の中核的役割を果たしています。



■ICU・CCU・HCU 高度な医療や容態管理を必要とする、重病重篤な患者さんの治療を行っています。



■MEセンター
医療機器を一括管理し、機器の修理および保守点検のほか、機器の稼働状況・点検履歴・故障履歴といった機器管理を行っています。



■リハビリテーションセンター
身体機能の回復・維持をはかる訓練を行っています。



■糖尿病教室
糖尿病専門医師を中心に看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師など、糖尿病療養指導士の資格を持った専門のスタッフが担当しています。



■症例検討会
医師を中心に、具体的な症例をもとにした診断と治療法に関する研究が行われています。

心に寄り添い、その人らしく。



■ **病室** 医療チームが診療・治療・看護に関して責任を持ち、安心して入院生活が送れるようケアしています。



■ **産婦人科の病棟**

産科医と助産師のほか麻酔科医や小児科医も加わり、豊富なマンパワーで安全なお産を提供しています。また、赤ちゃんにやさしい母乳育児を推奨しています。



■ **テイルーム**

病棟ごとに日当たりの良いテイルームを設け、なごみの空間として利用されています。



■ **ハーブガーデン** やわらかな日差しのもと、花々のやさしい香りで癒してくれます。



■ **プレイルーム** 小児科病棟に設けられ、広々としたスペースでのびのびと遊ぶことができます。



■ **なでしこ展望図書室**

最上階の10階にあり、患者さんとその家族、地域の方々が利用できます。



■ **売店** 豊富な品揃えで入院に必要な日用品も取り扱っています。



■ **展望浴室** 見晴らしの良い最上階にある浴室からは、角田山や弥彦山が望むことができます。

保健活動



1. 検診センターでの人間ドック・健康診断

長い人生を、健康に、そして心ゆたかに過ごすためには、日々の健康管理が大切です。当院では、単に疾病を発見するだけでなく、心身ともに健やかな人生が送れるように、質の高い健診を提供し、地域の保健サービスの拠点としての役割を果たしています。



人間ドックの流れ



1. 説明 受診についての説明を行います。



2. 受付 説明の後、受付を行います。



3. チェック



検診センター内の充実した設備を使用した、腹部超音波検査、X線透視(直接撮影)などを行っています。それぞれの検査には専門医が配置され、きめ細かく健康チェックが行われます。ドック担当医師の診察や問診により、生活習慣なども考慮して総合的に結果を判定します。



5. アフターケア

近年増加傾向にある生活習慣病などについては、管理栄養士による相談や指導を行っています。



4. 治療

人間ドックで発見された病気は、早期の治療が重要なポイントです。ドックの結果を引き継いだ専門医が病気の治癒と健康回復のために、さまざまな治療を行っています。

時代のニーズに応える 質の高い健診

1泊ドック

総合的な健診で、疾病の早期発見、健康管理に役立ちます。充実したプランのなかから選ぶことができます。

日帰りドック

1日でくまなくチェックできるお手軽なプランです。検査後の診察で一部の結果を、いち早く聞くことができます。

脳ドック

脳卒中の原因を発症前に発見して治療し、脳卒中を未然に防ぎたいという方のドックです。

肺ドック

タバコを吸う方、重クロム酸・石棉などを扱う業務の方、最近6カ月以内に痰に血が混じったことのある方のドックです。

主婦健診

一家の支えである主婦の方が、仕事や家事の合間に受けられるミニドックです。

SAS検査 (睡眠時無呼吸症候群)

大きなイビキや無呼吸のある方、日中に眠気が多い方、熟睡したという感じのない方、疲労感が続く方の検査です。

人間ドック(1泊・日帰り)のオプション

- ・胃内視鏡検査(食道・胃・十二指腸)
- ・肺ドック
- ・骨粗しょう症検査
- ・ヘリコバクターピロリ菌検査
- ・SAS検査
- ・口腔歯科検診
- ・脳ドック
- ・女性メンタルドック
- ・腫瘍マーカー検査
- ・胸部CT検査
- ・動脈硬化検査



2. 健康セミナー・市民講座

地域の方々に向けた健康セミナーを、年に2回開催しています。そこでは、健康に役立つ情報をわかりやすく提供しています。



福祉活動



当院では、長年にわたり積極的に社会福祉活動に取り組んできました。
地域医療支援病院として急性期医療はもちろんのこと、
地域における生活サポート体制の確立は、ますます重要になっています。
一人ひとりの患者さんに「安心」していただける福祉医療の提供をめざし、
患者さんの権利を尊重するさまざまな取り組みを行っています。

1. 患者さんの立場に立って



医療相談室

医療相談室では、患者さんの回復をさまたげているいろいろな問題・悩みについて、ご本人と一緒に解決していくために、専任の医療ソーシャルワーカーが社会福祉の立場から相談に応じています。

アドボカシー 患者の声 相談室

患者さんの権利を擁護するために、専任の医療ソーシャルワーカーが、患者さんの声(意見や要望)をお聴きします。「医師の説明がよく分からない」「他の病院で受診し、治療方針を決めたい」「自分のカルテを見せてほしい」「設備が使いにくい」「職員の態度や言葉づかいが不愉快だ」など、患者さんの代弁者として、当院が少しでも利用しやすくなるよう取り組んでいます。

2. 在宅介護支援センター・居宅介護支援事業所



退院後、日常生活に介護を必要とする方が安心して家庭で生活が送れるように、介護の方法や、介護上のいろいろな問題に対して相談に応じています。

3. 訪問看護ステーションによる在宅看護の支援

訪問看護ステーションからは専門の看護師が、患者さんの家庭を定期的に訪問し、地域のかかりつけ医と連携を取りながら、在宅での療養上のお世話や、必要な診療の補助を行っています。住み慣れた自宅で療養生活を送れるよう、生活の質を大切に、患者さんとその家族の気持ちを尊重した看護サービスを提供しています。



4. ボランティア活動

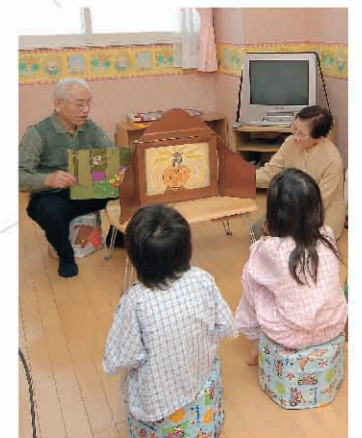
インフォメーションボランティア

2000年1月、入院された方が「社会に何か恩返しをしたい」という思いから、当院のボランティアは発足しました。正面玄関付近で、患者さんの目線で患者さんの立場に立った、受診のお手伝いをしています。



リーディングボランティア

「小児科に入院中の子どもさんに療養に専念してほしい」という願いから誕生しました。プレイルームで絵本のほか、紙芝居などの読み聞かせを行っています。



臨床 研修・人材育成



当院の臨床研修

病める人への 思いやりの心を大切に。

当院は質の高い医療の提供を病院の理念のひとつとしており、充実したスタッフと研修環境を整備して、臨床研修病院として研修医の受け入れを行っています。



初期臨床研修

■初期臨床研修の目的

信頼される医師となるためには、医学的知識と技術を身につけることが必須ですが、最も重要なことは病める人への思いやりの心です。当院では研修医の皆さんが2年間の臨床研修において、医師としての心、知識、技術の基本を修得し、適切なプライマリケアができるようになることを目標としています。

後期臨床研修

優秀な専門医を育成することを目的とし、学会認定専門医の取得を目標としています。



〔医療従事者のための施設〕

■医療の安全管理・研修センター

A棟7階は、医療従事者が実習に使える研修センターになっています。

臨床実習室



PC演習室



看護部理念・看護部教育理念・求められる看護師像

看護部理念

- 1.対象者の立場にたった看護を提供します。
- 2.看護師の倫理を守り、仕事に責任をもちます。
- 3.時代にあった知識と技術を常に探究します。

看護部教育理念

看護部理念に基づき、豊かな感性と創造性を有する自律した看護職としての、成長および自己実現が達成できるように支援する。

求められる看護師像

- 患者さんの立場を尊重し、常に思いやりをもって接する。
- 身だしなみ良く、言葉はていねいで、常に笑顔である。
- 自ら考え、自ら判断し、自ら行動し、結果には責任をもつ。



新人教育

- 全部署に新人教育担当者を配置し、師長、プリセプターを中心として、チーム全員で新人を支援します。
- 新人一人ひとりにプリセプターを配置し、1年間を通して技術面・精神面の双方をサポートします。
- 新人に必要な技術・知識は集合教育のほか、「新人技術到達度チェックリスト」を用いて各部署で指導します。

■採用時新人研修

外部コンサルタントによる研修 (目標管理・接遇等)	2日間
組織、医療安全/感染対策研修	2日間
看護技術実技研修 (救急蘇生・注射・記録・手洗い・針刺し防止対策・ME機器取り扱い)	5日間

継続教育

■キャリアラダー

	【達成目標】	【内容】
専門Ⅱ	専門性を高め組織の目標達成に貢献できる	認定看護師、臨床実習指導者など専門性を高めるための院外研修
専門Ⅰ	看護実践において手本となり、後輩を育成する	看護技術Ⅲ・看護記録Ⅲ 安全/感染Ⅲ・リーダーシップⅡ
基礎Ⅱ	自立した看護業務を実践し、後輩指導ができる	看護技術Ⅱ・看護記録Ⅱ 安全/感染Ⅱ・リーダーシップⅠ
基礎Ⅰ	自立した看護実践ができる	看護技術Ⅰ・看護記録Ⅰ 安全/感染Ⅰ・組織



支援体制

当院は認定看護師の育成に積極的な支援を行っています。また、さまざまな院外研修も実施しています。

〔研修医のための施設〕



■研修医室

研修医が専用に見える研修医室が設けられています。

地域の医療従事者の研修

地域の医療従事者が参加できる、さまざまな講習会や研修会を随時開催しています。





【広域MAP】



【近隣MAP】



交 通 の ご 案 内

■新潟駅からバスでおいでの方■

学校町～信濃町～西部営業所行に乗車—済生会新潟第二病院で下車
水島町～県庁前～西部営業所行に乗車—済生会新潟第二病院で下車

■内野・寺尾・大堀方面からバスでおいでの方■

<p>【旧国道116号線経由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内野～寺尾～新潟駅行に乗車 ・青山水道遊園前で下車 ・西部営業所行に乗り換え ・済生会新潟第二病院で下車 	<p>【大堀幹線経由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内野営業所～大堀～新潟駅前行に乗車 ・こばり病院前で下車 ・西部営業所行に乗り換え ・済生会新潟第二病院で下車
--	---

■大野方面からバスでおいでの方■

大野仲町～新潟ふるさと村～済生会新潟第二病院行に乗車

■電車とタクシーでおいでの方■

JR新潟駅万代口よりタクシーで約20分
JR小針駅よりタクシーで約5分

■自家用車でおいでの方■

新潟バイパス新潟黒埼インターより約5分



あなたとともに、
地域のために。